

「環境白書」の刊行にあたって



本県は、多彩で美しい自然環境に恵まれており、私たちの暮らしや産業は、この健全で豊かな環境から多くの恵みを受け、育まれてきました。こうした貴重な財産を、持続可能なものとして将来の世代にしっかりと引き継いでいくことが、今の時代を生きる私たちの使命と考えています。

一方、近年の環境問題は、気候変動の進行や生物多様性の損失、資源循環の重要性の高まりなど、多様化・複雑化してきており、国においては、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「ネット・ゼロ（脱炭素）」、資源を効率的・循環的に有効利用する「サーキュラーエコノミー（循環経済）」、生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現を統合的に進め、環境と経済、社会の好循環を生み出していくことを目指しています。

このため、私は、「山口県地球温暖化対策実行計画」をはじめ、「山口県循環型社会形成推進基本計画」や「生物多様性やまぐち戦略」など、環境に関連する重要な計画に基づき、県民や事業者、関係団体、市町等との緊密な連携・協働のもと、暮らしに密着した地域脱炭素化、エネルギーの地産地消、循環型社会づくりの推進や、自然景観と生物多様性の保全・活用などに取り組んでいるところです。

引き続き、安心して希望と活力に満ちたやまぐち暮らしを次世代へ引き継いでいくため、国の方針も踏まえ、様々な環境施策を総合的かつ包括的に推進し、「健全で恵み豊かな環境の保全と創造」の実現に繋げてまいります。

この白書は、山口県環境基本条例に基づき、本県の環境の状況及び環境の保全に関する施策を取りまとめた年次報告です。

本書を通じて、県民の皆様がふるさとの環境について理解と認識を深めていただく一助となりますよう願っています。

令和8年(2026年)10月

山口県知事
村岡嗣政